

## 4 岩間の噴泉塔群を探る

新岩間温泉から歩いて約1時間30分のところに、中ノ川の左岸に沿って、特別天然記念物の岩間の噴泉塔群があります。温泉の石灰成分が固まって塔状になったもので、高さが数メートルになることもあります。先端からは90℃を超える熱湯を噴き出しています。途中にあるブナ林の散策には新緑(5月)と紅葉の頃(10月中旬)が適しているでしょう。



岩間の噴泉塔

## 5 姥ヶ滝と露天風呂

スーパー林道の蛇谷大橋を渡って最初の駐車場から、谷底に下る階段を行くとブナやミズナラの林に着きベンチがあります。そこから川に沿って上流へ約5分で、露天風呂「親谷の湯」があり、川向かいには日本の滝百選に選ばれた姥ヶ滝があります。名の由来は、岩壁を白く何条にも流れ落ちる様が、老婆が白髪を振り乱しているのに似ているところからです。



姥ヶ滝

## 6 三方岩岳へ登ろう

スーパー林道の石川岐阜県境のトンネルを抜け、岐阜県側の三方岩駐車場から、整備された歩道が三方岩岳(1,736m)の山頂をめざしています。6、7月にはホンシャクナゲ、ニッコウキスゲ、キンコウカなどの高山植物が咲き、ヒガラやウグイス、クロジなどがさえずっています。40～50分で着く山頂からは白山や笠ヶ岳、大笠山、遠く北アルプスの展望が楽しめます。



三方岩岳

## 北部白山の自然観察

一里野・中宮温泉・スーパー林道周辺ガイドマップ



加賀禅定道檜新宮付近から白山

ちょっと深く白山の自然を・・・



白山の自然観察シリーズNo.4

ちょっと深く白山の自然を  
味わいたいと感じた皆さんへ...

豊かな自然の広がる北部白山には、古くから中宮温泉や岩間温泉があり、近年は一里野の開発や白山スーパー林道の建設などにより、急速に公園利用が増えてきたところです。夏から秋はドライブに、冬はスキーに、たくさんの方が訪れています。この地域にある登山道は、市ノ瀬から白山山頂にかけてのような賑わいはありませんが、中宮道や加賀禅定道など、白山に数ある登山道の中でも特に原生自然の残るコースとして人気があります。

せっかくの素晴らしい自然も、車で通過するだけでは十分に味わうことはできません。車を駐車場に止めて少し歩いてみたり、登山をするときに、このガイドマップを参考にいただければと思います。

この地域は、白山国立公園及び白山一里野県立自然公園です。快適な公園利用のために、次のことに心がけましょう。

- ・ゴミや空カンは持ち帰りましょう。
- ・サルに食べ物を与えないように。
- ・動植物の採集はやめましょう。
- ・施設を破損したり、汚したりしないように。
- ・ラジオや拡声器などによる騒音は慎みましょう。

## 問い合わせ先

白山自然保護センター 076-255-5321  
 白山自然保護センター中宮展示館 076-256-7111 (5月1日～11月10日)  
 白山自然保護センターブナオ山観察舎 076-256-7250 (11月20日～5月5日)  
 白山林道石川管理事務所 076-256-7341 (6月5日～11月10日)  
 一里野公園管理事務所 076-256-7412  
 中宮温泉野営場 076-256-7311 (6月1日～11月10日)  
 白山市吉野谷支所 076-255-5011  
 白山市尾口支所 076-256-7011

## 交通案内

## バス

金沢駅から北陸鉄道白山体験村行きで途中、瀬女で白山市コミュニティバスに乗り換え。詳しくは、加賀白山バス(株) 鶴来営業所 (0761-92-1893) へ。

## マイカー

小松から約1時間、金沢から約1時間30分。白山スーパー林道は、中宮温泉から約1時間で岐阜県白川村へ。



編集 石川県白山自然保護センター  
 URL <http://www.pref.ishikawa.jp/hakusan/index.htm>  
 発行 石川県・白山市(吉野谷支所・尾口支所)

2008.3/2004.2 15,000を修正)

## 1 ふくべ谷上園地

スーパー林道の、数ある滝の中で一番豪壮な「ふくべの大滝」の源流にあたるふくべ谷上園地があります。とがの木駐車場から歩いて約30分で、白山の眺めが楽しめる展望台に着きます。途中には、ブナやオオシラビソ、ヒノキの林の中に大木が倒れ、新たに幼木が発生したりコケが着生している様子を観察することができます。また展望台の周りには、ゴゼンタチバナやツマトリソウ、コバイケイソウなどの高山植物も見られます。



ゴゼンタチバナ

## 2 中宮展示館と蛇谷自然観察園

中宮展示館には、国立公園を訪れる人々に、白山の動植物や地質、人文について紹介する展示物があり、また職員が自然解説をしたり、様々な質問に対応しています。展示館裏には蛇谷自然観察園があり、四季折々に変化する自然の数々を観察できます。またすぐ前を流れる蛇谷の川原で遊んだり、中宮温泉に入った後、近くの中宮温泉野営場でキャンプやバーベキューをするなど、1日ゆっくり楽しめます。



中宮展示館

## 3 ブナオ山で野生動物を見よう

林が落葉し雪が積ると、山の動物がよく見えるようになります。北部白山はニホンカモシカやニホンザル、イヌワシなどの生息密度の特に高いところ。これらの野生の姿を、備え付けの大型双眼鏡や望遠鏡で観察できるのがブナオ山観察舎です。白山一里野温泉スキー場の近くにあるので、スキーがてらに訪ねてみませんか。観察舎の周辺の雪上にはテンやノウサギなどの足跡が見られ、野鳥も来ます。



ブナオ山観察舎

## 遊歩道や登山道で出会える動物



## イヌワシ

全国的に数が少なく国の天然記念物であり、石川県の県鳥にもなっている大型のワシで、白山にすむ生き物の頂点に位置しています。中宮展示館やブナオ山の上空によく出現します。



## キセキレイ

当地域の川沿いや建物のまわりによく見られ、長い尾を上下に振りながら昆虫を探しています。白山スーパー林道沿いに各所で営巣しており、数の多い鳥です。



## ニホンカモシカ

一里野周辺や蛇谷は、白山の中でも特にニホンカモシカの多い地域で、冬から春先にブナオ山観察舎からたくさん見ることができます。特別天然記念物に指定されています。



## ニホンザル

白山にいるニホンザルの多くが当地域にすんでいます。夏なら蛇谷自然観察園や各登山道で、冬から春先はブナオ山観察舎から見ることができます。餌やりは厳禁です。



## ウスバシロチョウ

5月の一里野周辺や中宮展示館の観察路でよく見かけるチョウで、明るい草原の上をふわふわと飛んでいます。羽は不透明の白地に黒く細い筋が特徴的です。



## カジカ

渓流の魚の代表として知られるイワナやカジカは、カワゲラやトビケラなどの幼虫や、水面に落ちる昆虫を餌としています。蛇谷の本流・支流の大部分は禁漁区です。

## 7 中宮道の原生自然をたどる

中宮道は、白山の室堂から中宮温泉まで距離20kmあまりの登山道で、主に下山に利用される健脚向きの登山道です。白山火山の噴出物や、遅くまで残る雪渓、クロユリやハクサンコザクラなど高山植物の大群落、ブナ原生林などの中を行く素晴らしいコースとして隠れた人気があります。ゴマ平やシナノキ平の避難小屋を利用して、ゆっくり自然を楽しみたいところです。

日帰りなら、中宮温泉から1時間ほど登るとブナ林となり、さらに1時間で尾根づたいの道となり、しばらく行くと白山の頂上部も見える展望のよいところに出ます。静かに歩くと、ニホンカモシカやニホンザルによく出会う道なので、しっかりと靴をはいて往復してみるのもよいでしょう。



ブナ林



ゴマ平避難小屋

## 8 加賀禅定道の歴史を訪ねる

加賀禅定道は、古く平安時代に修験道の道として開かれたとされる歴史のある道で、長く加賀側の表参道として栄えてきました。昭和初期から廃道になっていましたが、昭和62年整備され、一里野と室堂を結ぶ登山道として復活しました。距離が長いので下山向きの道ですが、高山植物のお花畑や百四丈滝、加賀室跡や四塚などの歴史的な遺物が残る魅力いっぱいのコースで、奥長倉山に避難小屋があります。

登山道は、ブナオ山観察舎の近くのハラヤ谷右岸と一里野のゴンドラ山頂駅から、ともに尾根づたいに進み、しかり場分岐で合流します。ブナやヒノキの大木のある道で、檜新宮を訪ね、白山(四塚山)を眺めて、5～6時間で回ることができます。



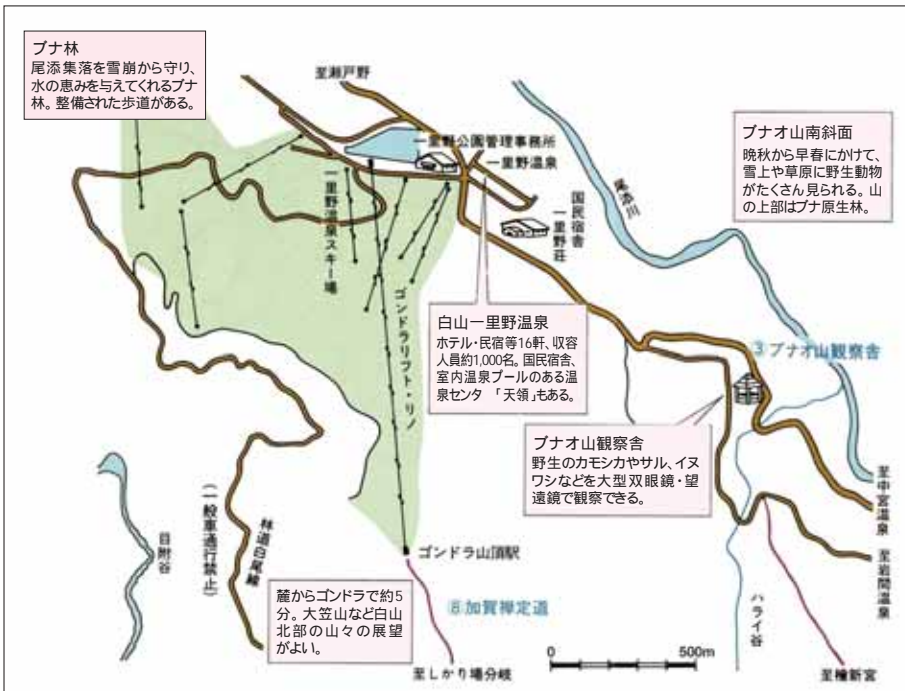
天池と四塚山



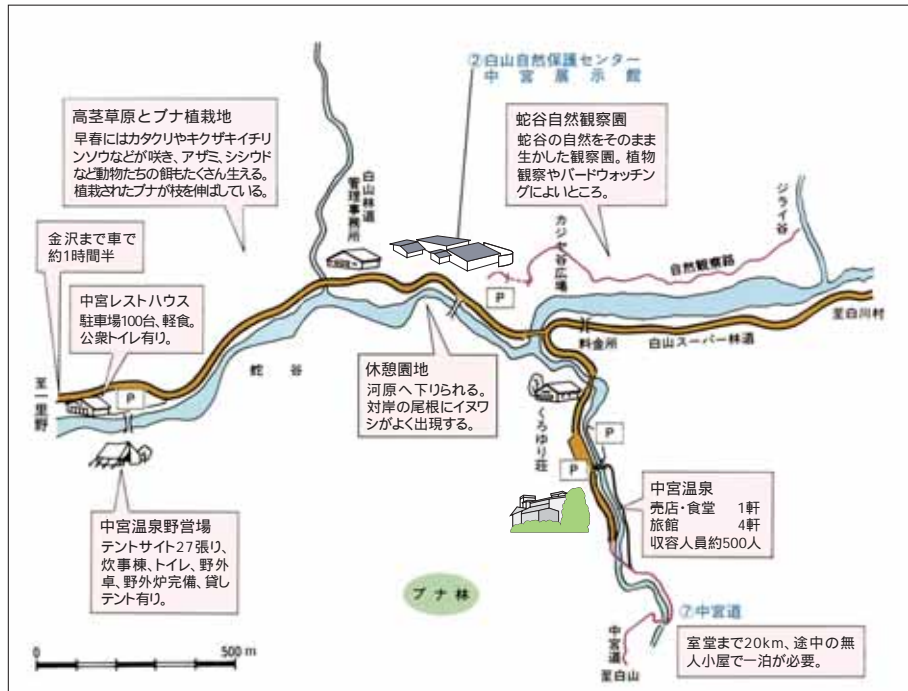
百四丈滝



一里野地区周辺図



中宮温泉地区周辺図



○ 本文で紹介したコース、番号は本文に対応 (コースタイムは休憩を除く標準的な時間)  
— その他の登山道  
  宿泊施設 (営業時間) ♠ キャンプ場   避難小屋